

## 郡山のウイスキーバーでの出会い

今年9月20日に、出張で郡山に行った際に、前々から行ってみたかったウイスキーバーに立ち寄りました。郡山駅前の繁華街の中にあるウイスキーバー「AIKA（アイカ）」。バーカウンターの向こうには、ウイスキー、それも熟成物のウイスキーが1000本以上並ぶ圧巻の光景。市場ではもはやお目にかかれない年代物のウイスキーも良心的な値段で味わえると、日本国中からウイスキーファンが集うお店で、東京から通ってくる人もいるほど。

このお店、ウイスキーバーでありながら、適度な明るさもある店内に100席以上の椅子とテーブルもあります。実は、ウイスキーバーでありながら、フルールショップでもあり、フルーツパーラーでもあるのです。なので、確かに周りを見渡せば、もちろんウイスキーを楽しんでいる人も大勢いますが、フルーツカクテルやフルーツパフェを楽しんでいる女性客もたくさんいます。

私が店員の方に、少しマニアックなウイスキーの注文をしようとしたら、その店員の方は「お客様、ウイスキーのことでしたら、ただいまマスターがまいりますので」とのこと。そうしたところ、奥のキッチンコーナーの方から、エプロンを掛け、にこにこした人の良さそうなおじさんが登場。私が「すみません、あそこに見える緑色ラベルで真ん中にライオンが書いてあるボトルは、もしかしてグレンリベットの古いやつですか」とお聞きしたら、「よくご存じですね、グレンリベットの90年代のものです。モルトの香りがまるやかで美味しいですよ」、途中からマスターのウイスキーの説明が上の空、マスターのエプロン（前掛け）の胸のあたりに国際ロータリーの毎年のバッジがずらっと6つくらい輝いているではありませんか。今年の「UNITE FOR GOOD」の緑バッジも。

「あの、つかぬことをお伺いしますが、マスターはロータリアンですか」とお聞きしたところ、「そうなんです。お客さんもロータリアンですか」と。「私も一応ロータリアンですが。しかし、マスター、なんで前掛けにロータリーのバッジをお付けしてるんですか」とお聞きしたところ、「20年も前の話だけど、私をロータリーに誘ってくれた地元の会社の社長さんが、仕事するときこそ、常にロータリーの考え方を意識すべきなんだ、だから、仕事するときこそロータリーのバッジを付けるべきなんだ、と教えてくれたんで、私もその通りだなと思うもんですから、自分で気を引き締めるつもりで、店でいつも身につける前掛けにロータリーのバッジを付けてるんです」と。

私は思わず「マスター、素晴らしいですね！」と。そして、2人で記念写真をパチリ。おかげでマスターとものすごく打ち解け、マスターお薦めの秘蔵のウイスキーをごちそうになりました。つい先日も、東京出張の帰りに、この店に立ち寄るためだけに郡山で途中下車。楽しいお店、そして、尊敬すべきロータリアンに出会うことができました。

ウイスキーっていいな～ あっ、ロータリーっていいな～